

本居宣長さんの教え
5つのチャレンジ

課題解決に向けて 未来を切り拓く学力向上タスクフォース

松阪市でめざす「未来を切り拓く力」を育成するために、「本居宣長さんの教え5つのチャレンジ」について、**具体的な方策を立てて**取り組みましょう。

未来を切り拓く力

主体的に判断できる力

- ・ 伝統や文化に立脚した広い視野と深い知識を持つ。
- ・ 理想を実現しようとする高い志や意欲を持つ。

多様な人々と協働していくことができる力

- ・ 他者に対し、自分の考え等を根拠とともに明確に説明する。
- ・ 対話や議論を通じ、多様な相手の考えを理解し自分の考えを広げる。

新たな価値を創造する力
新たな問題を発見し解決できる力

- ・ 社会（学校・家庭・地域）の中で自ら問いを立てる。
- ・ 解決方策を探索して計画を実行し、問題を解決に導く。

1 生活習慣を確立する

子どもたちの生活習慣を確かめていますか。

- 子どもたちが、3つの時間（学習時間・読書時間・睡眠時間）を決めて、生活リズムを身に付けることができるように、家庭と協力して進めましょう。
子どもたちが立てた計画をもとに、**生活リズムが身に付いているか確かめることが大切です。**

学力を支える地域、育む家庭、伸ばす学校

5つのチャレンジ ④3 3つの時間
わたしたちは、毎日、自分で決めた時間に家庭学習をします。

3つの時間
3つの時間に向けて、基本となる生活リズムを子どもたちと一緒に作ってみてください。お家での子習復習は、様々な学力を培う上でとても重要です。
平成30年度松阪市学力向上推進協議会

いつ始めるの？ **学習時間** いつ読むの？ **読書時間** いつ寝るの？ **睡眠時間**

帰 登

家 校

5つのチャレンジ ④2 わたしたちは、授業をふり振り返り発見したことを、自分の言葉で書きます。

(小学校) 授業の手習い-復習をしよう
今日、勉強したことは何だったかな、できるかな。 明日は、どんな勉強をするのかな、楽しみだな。

(中学校) 教科書を活用して学習しよう
様々な場面でも活用できる様々な知識を身につけることが重要です。活用することで、「生きて働く知識・技能」が習得されていきます。教科書を活用することで、身につく基礎的・基本的学力を高めます。

教科書は、児童生徒に不可欠な教育内容を確実に身につけさせる基本的な教材であり、最新の社会情勢に応じた記載の更新等がなされています。
最新！重要！

質問 「家で授業の予習-復習をしている」と答えた児童は、全教科の平均正答率が高い結果でした。

質問 「家で、学校の授業の予習-復習をしていますか」
「全くしていない」と答えた児童 54.4%
「している」と答えた児童 45.6%

質問 「家で予習-復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を活用しながら学習していますか」
「全くしていない」と答えた生徒 58.8%
「している」と答えた生徒 41.2%

全教科の平均正答率 (%)

全教科の平均正答率 (%)

【学力と家庭学習(予習-復習)には、関係があります。】
【家庭学習でも、授業をふり振り返り分かったことを確かめたり、明日の授業の準備をしたりしましょう。】
(平成31年度松阪市学力向上推進協議会・松阪市立中学校協議会)

2 主体的に学ぶ

主体性を育てる家庭学習を行っていますか。

- 自ら問題を設定し、調べたり、考えたり、自分で計画や見通しを持って取り組んだりする家庭学習を続けることで、子どもたちの主体性が育ちます。

【事例1】松阪市立山室山小学校

家庭学習における「めあて」「ふり回り」

家庭学習において、自分で、めあてを設定し、ふり回りを行う。

めあて
「約数について知ろう」

開始・終了時刻

【事例2】松阪市立第四小学校

家庭との連携

「学習の手引き」を作成し、家庭においても、子どもの主体性を育てるよう働きかける。

保護者の皆様へ
家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるため、そして、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとっても大切なものです。充実した家庭学習にするために、ご協力よろしくお願いいたします。

家庭学習の目的

学習の習慣化
学ぶことへの意欲の育成
学習したことの定着と習熟

はじめに保護者への呼びかけがあり、家庭学習の目的が示してある。

保護者に対して、具体的な働きかけを示している。 子どもに対して、自主学習例を示している。

おうちで協力してほしいこと
低学年（1・2年）

- ・学習しやすい環境づくりをお願いします。（テレビを消し、机の上を整頓しましょう。正しい鉛筆の持ち方やよい姿勢に気をつけましょう。）
- ・学習中はできるだけ見守ってください。
- ・最後までやり通すよう働きかけをお願いします。
- ・見届けて、がんばりをほめましょう。

中学年（3・4年）

- ・学習しやすい環境づくりをお願いします。（テレビを消し、机の上を整頓しましょう。）
- ・自分から机に向かうよう、自主学習にも取り組むよう励ましの言葉かけをしましょう。
- ・見届けてがんばりをほめましょう。

高学年（5・6年）

- ・学習しやすい環境づくりをお願いします。
- ・苦手なことにもねばり強く取り組むよう助言をしてみてください。
- ・目標を決めて努力ができるよう見届けてがんばりをほめましょう。

1・2年生

毎日、家で勉強することを続けましょう。
(じしゅがくしゅうの例)

- ・国語の教科書を音読しましょう。
- ・ひらがな、カタカナ、かん字などをていねいに書きましよう。
- ・教科書の計算をもういちどしましょう。
- ・まちがったもんだいをもういちどしましょう。
- ・日記を書きましよう。
- ・どくしょをましよう。

3・4年生

自分から進んで勉強を始めましよう。
(自主学習の例)

- ・国語の教科書を正かくに音読ましよう。
- ・漢字やローマ字の練習をましよう。
- ・国語辞典で意味を調べましよう。
- ・教科書の計算問題をもう一度ましよう。
- ・まちがった問題をもう一度ましよう。
- ・教科書の習ったところを読んで、大切なことをノートに書きましよう。
- ・日記をつづけて書きましよう。
- ・読書をましよう。

5・6年生

自分から進んで計画的に勉強をましよう。
(自主学習の例)

- ・国語の教科書を正確に音読ましよう。
- ・漢字や計算問題を練習ましよう。
- ・まちがった問題をもう一度やってみましよう。
- ・次に習うところを読んだりましよう。
- ・気持ちや考えを整理して日記を書きましよう。
- ・読書をしたり新聞などを読んだりましよう。

【事例3】松阪市立久保中学校

継続的な自主学習

「さんサンノート」を使って、自分で内容を考え、家庭学習に取り組む。

予定帳と一体にして、毎日の取組にしている。

毎日の振り返り活動により、書く力を高めるようにしている。

生きて働く知識・技能の習得を習慣化させるようにしている。

月	日	科目	学習の予定	結果	持ち帰
5月	11日	金曜日	美術 レタログ練習	自主学習	色鉛筆の練習
		数学	分数と小数の計算	①練習①	
		国語	図書館の使い方	②プリント②	
		社会	地球儀と世界地図	③ワーク③	
		英語	ローマ字のルール	④ワーク④	
		体育	ハンドボール	⑤ワーク⑤	

自主学習スペース

自主学習スペース

〈理科〉花のつくり

柱頭 花弁 子房 胚珠

○花弁 離弁花...1枚が離れている

○おべ...やくの中に花粉が入っている

○めいべ...柱頭...花粉がつくところ

子房...根柱のふくらんだ部分

胚珠...子房の中にある小さな粒

被子植物...胚珠が子房の中にある植物

①花のほたけ 子孫をよこすため

おべの花粉 授粉

胚珠 ⇒ 種子 子房 ⇒ 果実

3 説明力を伸ばす

自分の考え等を筋道立てて話せるようにしていますか。

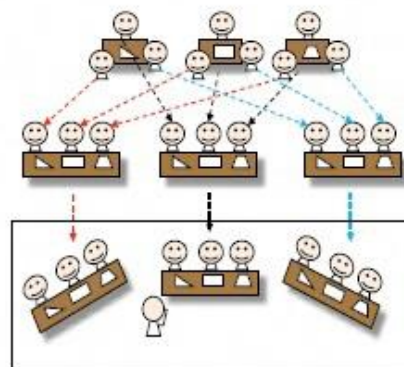
- 子どもたちには、自分の考え等を根拠とともに明確に説明できるような力を育てることが大切です。

【事例】松阪市立三雲中学校

「知識構成型ジグソー法」や協働学習モデルを取り入れた取組



資質・能力を引き出しやすい学習法 「知識構成型ジグソー法」



1. 「学習課題」の提示
与えた資料を基に解決してほしい問いを出し、今の考えを一人ですとめる
2. エキスパート活動
担当資料を理解する・解く
(一人で挑戦→グループで確認)
<グループ組み換えのため席替え>
3. ジグソー活動
担当資料を紹介し合い、「学習課題」の解づくりに取り組む
4. クロストーク活動
主課題の解を発表しあい、全体で議論する
5. 最後
「学習課題」に対する解をもういちど、一人ですとめる

▶ 協働学習で批判的思考力を

また本校では伝統的な学習スタイルが定着している。それは、協働学習モデルである。協働学習 (Collaborative Learning) とは、「子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学習形態」と捉えている。協働学習を通じて、比較・統合・分析・評価をして、多様性の理解をして、最適解の追求をしている。

この学習スタイルとテクノロジーを融合させることで生徒の学び方は変容していき、またそれは日常化していった。協働学習やテクノロジーの活用はもはや生徒にとっては単なる日常となり、生徒たちは新たな学び方によるスキル習得の機会に触れることはごく当たり前の環境下で生活している。



協働学習モデル		Collaborative Learning	
子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学習形態			
1 課題共有	→	個人	◎めあて
2 個人思考	→	個人	
3 グループ思考	→	他者	協働
4 全体共有	→	他者	の場
5 ふり返り	→	個人	🔄振り返り

協働学習モデル

4 考えを深める

人や本、自然等から学ぶ活動が位置づけられていますか。

- 子どもたちが学ぶ内容と教育活動に必要な人や地域の教材などを活用しながら、効果的に組み合わせることが大切です。

【事例】松阪市立飯南中学校

地域とともにある学校づくり

教職員の思い

生徒に飯南地域のことを好きになつてほしい。

取組の経緯

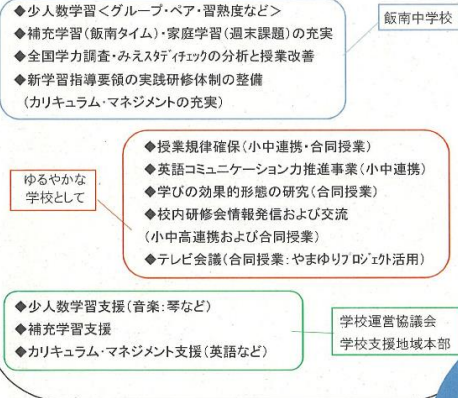
- 1 グランドデザインや構想図等のプラン（下図）を立てる。
- 2 教職員が、地域の歴史、文化、産業等を知る。
- 3 教職員が、地域の人たちとの出会い、地域に対する思いを知る。
- 4 授業や学校行事など、具体的な学習活動を計画する。

コミュニティ・スクールと関連した飯南中学校教育活動

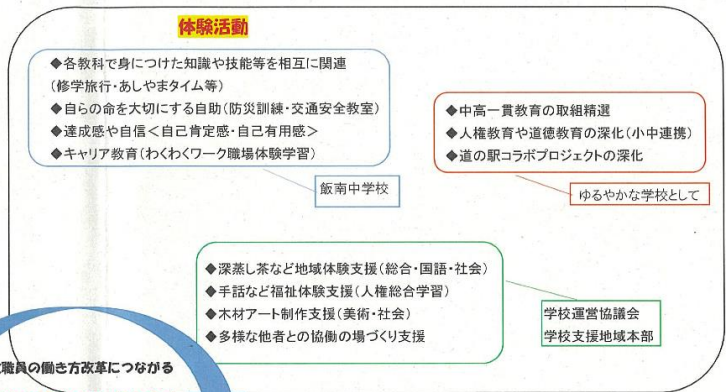
今年度の重点目標

- (1) 基礎学力を確かなものとし、探究する確かな学力をつけた生徒を育成する。
- (2) 自分と人・自然・地域のつながりを大切にして自ら伸びる健やかな体と豊かな心を育成する。
- (3) 連携型中高一貫教育を推進し、自分や地域の良さを語るたくましい生徒を育成する。
- (4) 保護者や地域と連携・協働しながら、地域とともにある信頼される学校をつくる。

学力向上



体験活動

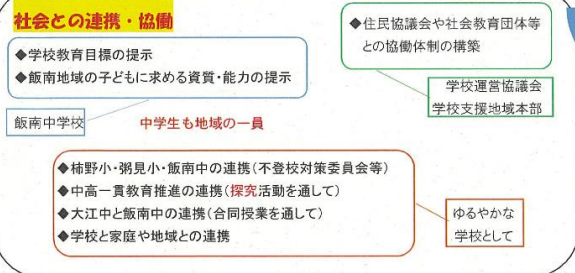


教職員の働き方改革につながる

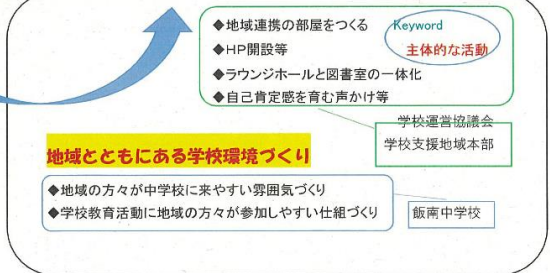
子どもを真ん中に据える!

保護者が安心を感じて地域が笑顔になる

社会との連携・協働



地域とともにある学校環境づくり



5 学んだことを活用する

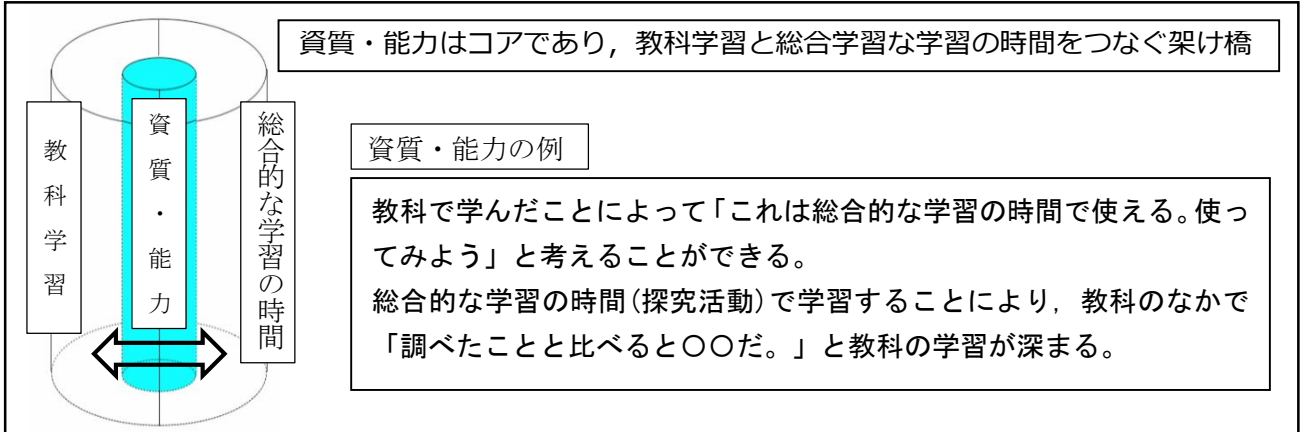
探究的な過程を重視していますか。

- 社会における様々な場面で活用できる知識や技能として身に付けるために、学んだことを生かす場面を子どもたちと創り出すことが大切です。

【事例】松阪市立飯高中学校

探究的な学習の過程において総合的に活用する教科の見方・考え方

教科学習・総合的な学習の時間・資質・能力の関係のイメージ図



教科学習の知識技能が総合的な学習の時間(探究活動)で活用された例

